

地磁気測定・磁気測定用三軸磁力計 MB162



三軸磁力計MB162形は、微小磁界の検出において、島津の持つ豊かな経験と技術を結集して開発した装置です。磁界の検出は高感度なフラックスゲート方式で、地球磁界を「安定」に「高い分解能」で測定できます。本 高感度磁力計の性能は各地のフィールドで実証されています。

用途

- ・ 地磁気観測・地質調査・部品材料の磁性検査・その他電磁気の研究など

特長

- ・ 三軸ベクトル磁界測定
- ・ 高安定度0.1nT/日
- ・ 極微小温度ドリフト0.3nT/℃
- ・ 高分解能0.1nT
- ・ 一定磁界中の微小磁界変化を測定（一定磁界を補償回路で打ち消します。）
- ・ アナログおよびデジタル出力表示（デジタル表示は平均値で、切換により1s/10s/60sのデータ平均値を出力することができます。）
- ・ 方位調整用発音体（発音が「連続→断続音→無音」となるように方位調整を行います。）

仕様/構成

測定範囲	0～±50 μ T（定磁界補償範囲）
周波数帯域	DC～5Hz、1Hz、0.1Hz（切替）
分解能	0.1nT（最小測定感度レンジにて）
電源	AC100V±10V 50/60Hz
消費電力	20VA（アナログ）、25VA（デジタル）
構成	制御器1台、検出器1台、ケーブル（50m標準）1本

※外観および仕様は改良のため、予告なく変更することがあります。

磁力計に関しては、下記窓口までお問い合わせください。

東京支社 磁気装置営業課
TEL: 03-3219-5776